

総論

江守先生
「なぜわたしたちは、気候変動問題に
取り組まないといけないのか？」

温暖化のしくみ
温室効果ガス(人間の手で↑) → CO2, CH4, N2O → 気温上昇(+1.2℃)

温暖化すると何が起きる?
海面上昇、熱波、渇水、食料・水不足

私への影響は?
自らの経済・地域・健康に責任がある。最も大きな影響を受ける。

私たちが何ができるか?
個人だけでは止まらない。社会システムの大転換が必要。

世界の目標達成は?
今のままでは足りない。パリ協定は日用品の多くに活用される。自然や人々の生活や文化をどう守っているか。

若者からのメッセージ
活動をはじめよう。自然がもたらした環境で生まれ育った。自然が全然ない。あたり前ではなかった。

気候変動や生物多様性は
解決できない。時間がかかる。今の積み重ね。若者が声をあげる理由。大人が想像できない未来でも私たちに与える希望のある未来。

三上先生
「なんで気候区民会議をやるの？」

欧州は2020年「パリ協定」を締結。気候変動対策として、社会全体で取り組む。行動の変化。新しい法律ができる。計画の改定にはアクションプランが必要。市長が対応を約束する。

1970年代「手法」シニアグループ。無作為抽出。生活者の立場から。2020年札幌で始まる。杉並は12事例。国内で事例がある。

岸本区長
「環境先進都市杉並を目指して」

1972「成長の限界」100年以内に持続的に住める。有限の資源を活用していくために。社会の間でも差が出ている。格差・差別。

科学 ↔ 政治
ギャップを気候区民会議でうめよう。

「気候スライム」2018年国際政治に戻ってきた。若者の行動がきっかけ。2020年。市民の力。継続して。発展している。

エネルギー

高木先生
「杉並でゼロカーボン
家庭の気候変動対策」

杉並区 VS 国民平均
CO2: 25t (杉並) vs 9.7t (国民平均)
5% 家庭内削減。杉並のエネルギー消費。長野県では太陽光発電のポテンシャルを最大限に活用。

個人でできること!
・まずは自分の排出量を調べる
・何が最も消費高いかを調べる
・住宅では省エネが重要! 健康への影響。テトラポッドで70%削減の可能性がある。

細田工務店 谷田君
「細田工務店の取組」

環境に配慮した住宅づくり。断熱性能。ZEH。太陽光発電標準化。コスト削減。必要があると感じ。ゼロカーボン対応。建物の木質化。マンションの6%以上の木質化を進めたい。

鈴木君
「家庭でできる取組」

① 機器の使い方を工夫する
・エアコン: 夏は26℃以上、冬は18℃以下。扇風機・除湿機・加湿機の併用。
・冷蔵庫: 庫内を整理して詰めすぎない。

② 再生可能エネルギーを活用する

③ 知る・関心をもつ
企業が作っている。活用するのは私たちに。知っていることを共有しよう。H2Eは、暮らしに役立つ。

有坂課長
「杉並区地球温暖化対策実行計画に基づくエネルギー施策」

- 太陽光パネル導入補助金... 杉並 4万円/㎡ → 12万円
- 東京リノベーター補助金... 東京 12万円/㎡
- 省エネ診断・省エネ診断
- 区立施設の取組... ZEH化
- 再エネ導入促進... 路面太陽光の試験導入

区役所本庁舎 再エネ率 100%

意見討論

谷田君: 課題。費用の高騰。敷地面積が狭い。太陽光パネルの設置スペース足りない。法改正 → 耐震性。事業者でZEH。性能表示を義務化するべき。高木先生: 再エネの理由。太陽光パネルの補助金。お金の流れをゼロカーボンにする。高木先生: 再エネの理由。2,000~3,000円/㎡。図書館で。区で貸し出しを。高木先生: 家族が。時間。省エネ。ICT。高木先生: 家族が。時間。省エネ。ICT。

ゼロカーボンをどのように実現する?
高木先生: 杉並が東京を引っ張る。谷田君: 区の方針(ゼロカーボン)を知りたい。環境配慮した住宅の取組。二重屋根の活用。高木先生: 杉並が東京を引っ張る。谷田君: 区の方針(ゼロカーボン)を知りたい。環境配慮した住宅の取組。二重屋根の活用。

次回
2024年4月20日(土)
10:00-11:00 清掃工場見学 第20回
13:30-17:30 第2回会議